



学校法人 秋田経済法科大学

学園案内

秋田経済法科大学

秋田看護福祉大学

秋田栄養短期大学

秋田桂城短期大学

秋田経済法科大学附属高等学校

秋田経済法科大学附属幼稚園

秋田経済法科大学附属さくら幼稚園

秋田経済法科大学附属保育園



「私の大学観」



小泉 健 理事長

兼 秋田経済法科大学 学長
兼 秋田栄養短期大学 学長

今、大学の役割とは何かということを変更して問わなければならない時代になっています。現代社会において、大学とは入学した学生が学問をするところであるというような当然の話が通じなくなっているのです。高校生にとって、大学に入学すること自体が、終局的な目的となっています。大学はよほどの人でない限り卒業は出来るから、楽しく2年間ないし4年間で過ごそうと考え、アルバイトをするのも、生活費や授業料のためではなく、遊ぶための資金を得るためになっています。ですから、休講も大歓迎で、出欠をうるさく言う教師や、採点が厳しい教師は嫌われます。

ハーバード大学のロースクールの学生は、世界でもっとも勉強をする学生である、といてもいいと思います。ロースクールの学生は、一度大学を卒業した後、アルバイトをしなくても学業に専念できるように、その間の学費を貯めてから入学します。なかには結婚し、奥さんが働いて、夫の学業を支えている人も多く見られます。彼らにとっては、1時間たりとも学業を疎かには出来ないのです。休講すれば当然、教師に補講をしてくれと求めます。教師の遅刻などはもってのほかです。彼らは、1時間あたりの授業の対価は非常に高いという意識を強く持っているのです。家族を含め、彼らの人生すべてが勉強にかかっているからです。夜の12時前に図書館の明かりが消えることはありません。講義で出される課題は多く、アルバイトの時間はありません。勿論クラブに入ることも出来ません。このように一心不乱に勉強した人たちが、裁判官、検事や弁護士として育ち、また議員や知事、大統領として、アメリカ社会の法の支配を支えているといつてよいでしょう。

大学をレジャーランドといった著名な評論家があります。学問に関心を持たず、単位をとるためだけに、仕方なく試験勉強をします。従って、このような考え方は、本当の学問は身に付くはずがありません。

大学には、何のために入学したのか、その目的がはっきりしない学生がかなり多く見られます。結局2年間ないし4年間在籍しても人生の目的が見つからないこととなります。

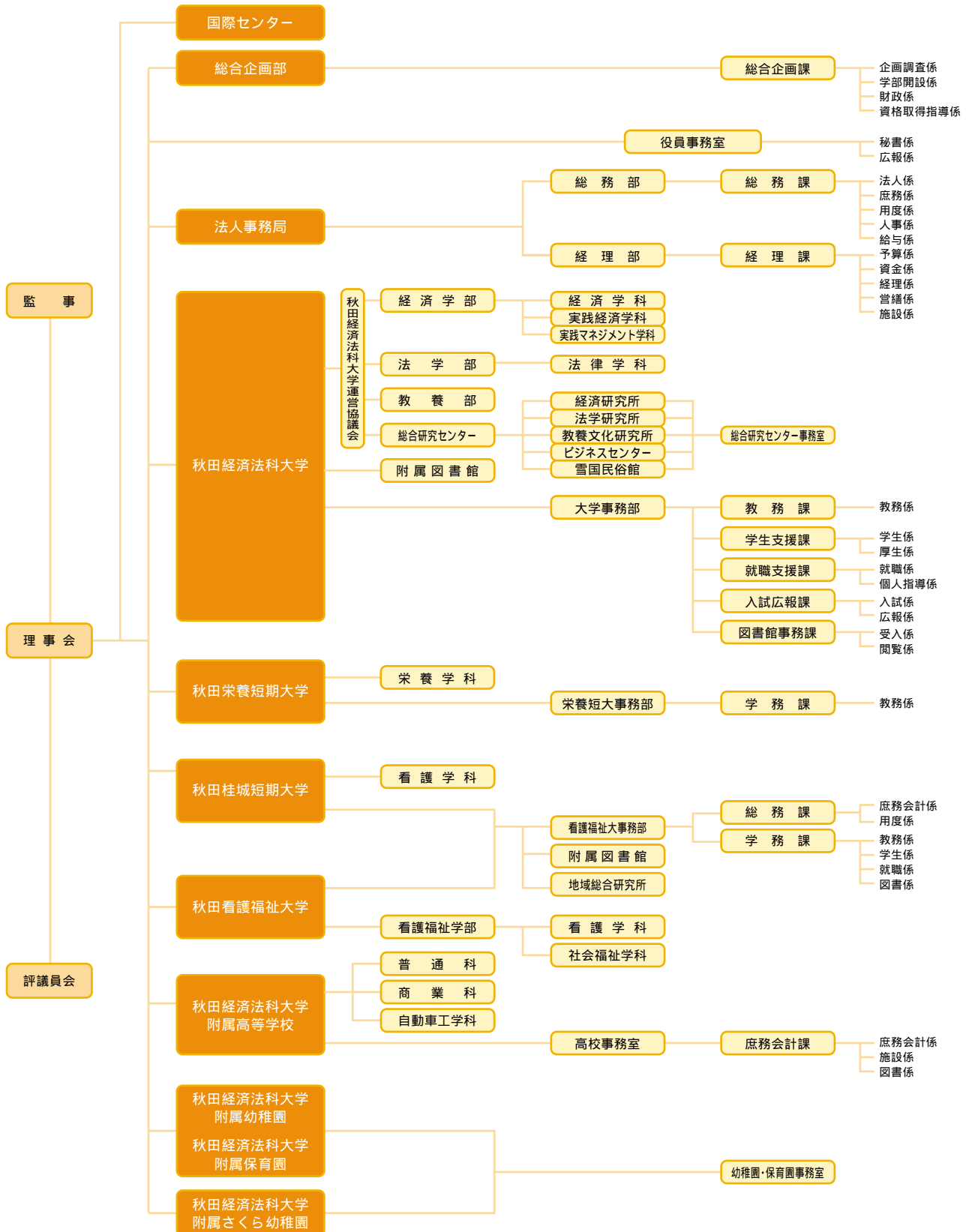
しかし、私は、世間でよく言われるように、昔の学生は良かったとは、決して思いません。昔の学生に比べると、逆に現代の学生のほうが様々な知識を身に付けており、その博識たるや大変なものです。彼らに足りないのは学問に対する本当の喜びであり、情熱だと思います。学問で新たな発見や感動をして下さい。新たな世界が開けます。今、目の前にある学問が嫌いだという学生は、卒業しても就職しても、目の前の仕事を好きになれるとは思えません。目の前にある学問や勉強から逃げない。しっかりと地に足が着いた学問をする。そういう学生を私は育てたいと思います。知識はあるのですから、後は情熱の問題だと思います。私は、先生方に、先生方のお持ちになっている学問に対する情熱の一部でよいから、それを学生に与えていただきたいと念願しております。学生諸君が本当に悔いのない学生生活を送れたと言えるような大学を作っていきたいと考えています。



理 事		監 事	
理 事 長	小泉 健	監 事	米谷 節郎
常務理事	渡邊 義夫	"	斎藤 隆夫
理 事	田代 苑子	"	新開 卓
"	大淵 宏道		
"	竹内 一修		
"	ブライアン アルストロム		(平成18年5月1日現在)

組織図

Organization



建学の精神

Mission Our Precepts

本学園の建学の精神は「真理・調和・実学」にあります。

秋田人の経世学者・佐藤信淵が説く真理を仰ぎ、創立者・古田重二良が述べる調和をはかり、そして人間社会に実学を生かす学風を培うものであります。

教学ともに建学の精神をもって、国際的視野に立ち、輝かしい未来に向かって伝統の灯を掲げていくことを学園存在の理念としています。



設置する学校

an educational establishment

学校名	学部・学科名	入学定員	開設年度	所在地	備考
秋田経済法科大学	経済学部実践経済学科	150人	昭和39年	秋田市	
	同 実践マネジメント学科	50人	昭和39年		
	法学部法律学科	200人	昭和58年		
秋田看護福祉大学	看護福祉学部看護学科	50人	平成17年	大館市	
	同 社会福祉学科	40人	平成17年		
秋田栄養短期大学	栄養学科	80人	昭和29年	秋田市	
秋田桂城短期大学	看護学科	50人	平成8年	大館市	
秋田経済法科大学 附属高等学校	普通科	520人	昭和28年	秋田市	
	商業科	45人	昭和32年		
	自動車工学科	40人	昭和44年		
秋田経済法科大学 附属幼稚園		210人	昭和32年	秋田市	
秋田経済法科大学 附属さくら幼稚園		80人	昭和59年	秋田市	
秋田経済法科大学 附属保育園		60人	平成16年	秋田市	

- | | |
|------------|---|
| 1953 (昭28) | 学校法人秋田短期大学設置認可
秋田短期大学(商経科)開学
秋田短期大学附属高等学校(普通科)開校 |
| 1954 (昭29) | 短期大学に家政科を設置 |
| 1957 (昭32) | 高等学校に商業科を設置
秋田短期大学附属幼稚園開園 |
| 1962 (昭37) | 秋田短期大学附属合川高等学校(普通科)開校 |
| 1964 (昭39) | 秋田経済大学開学(法人、高校、幼稚園の名称も改称) |
| 1969 (昭44) | 高等学校に自動車工学科を設置 |
| 1972 (昭47) | 合川高等学校を公立に移管 |
| 1983 (昭58) | 大学に法学部を設置し、『秋田経済法科大学』に改称
大学、短期大学が現在地へ移転 |
| 1984 (昭59) | 秋田経済法科大学附属さくら幼稚園開園 |
| 1986 (昭61) | 高等学校が現在地へ移転、学園移転総合事業完了 |
| 1989 (平元) | 短期大学家政科を『生活文化学科』に改称 |
| 1994 (平4) | 附属さくら幼稚園が現在地へ移転 |
| 1996 (平6) | 秋田県大館市に秋田桂城短期大学
(看護学科・人間福祉学科・地域社会学科)開学 |
| 1998 (平8) | 短期大学名を『秋田経済法科大学短期大学部』に改称 |
| 2001 (平13) | 短期大学部商経科を『商経情報学科』に、
生活文化学科生活文化専攻を『ライフデザイン専攻』に改称 |
| 2003 (平15) | 学園創立50周年を迎える |
| 2004 (平16) | 秋田経済法科大学附属保育園開園 |
| 2005 (平17) | 秋田看護福祉大学開学
短期大学部を秋田栄養短期大学(栄養学科)に改組
秋田経済法科大学に総合研究センターを開設 |
| 2006 (平18) | 経済学部実践経済学科、実践マネジメント学科を開設
秋田経済法科大学に教養部を設置 |



学園改革 Reforms of schools

本学園では、種々の改革を行っています。平成17年度は、秋田桂城短大を4年制の秋田看護福祉大学に改組し、秋田経法大短期大学部を単科短大化して秋田栄養短期大学としました。平成18年度は、経済学部を実践経済学科と実践マネジメント学科の2学科制にし、さらに法学部の改革も進めています。

1 経済学部の2学科制

経済学部を実践経済学科と実践マネジメント学科の2学科制にし、各学科独自の実践性を重視したカリキュラムにもとづいて社会が求める人材育成に力を入れています。キャリア教育を充実させて就職に対する意識を高め、会計・情報・流通等の高度な資格取得を積極的にサポートする体制が組まれています。

2 教養部の新設

教養部は、経済学部と法学部の教養教育を横断的に行う学部と同格の新組織です。新学習指導要領に基づく「ゆとり教育」を受けた学生が入学することなどに対応し、基礎教育をより充実させます。

従来は、学部ごとに教養教育を行っており、他学部の授業を履修することは出来なかったのですが、教養部の新設で、これが可能となりました。時間割や科目選択の幅が広がり、学生が目的や関心に応じて科目を履修しやすくなるとともに、他学部生との交流が促進されます。

3 教育内容、学生支援体制の充実

経法大では、カリキュラムの再編や資格取得指導の強化など教育内容の充実に力を入れています。1年生に対してはクラスごとに経済や法律の基礎教育を徹底し、2年生からゼミナールを開講、少人数教育・実践教育の充実を図ります。18年度は、この実践教育の研鑽の一環として学生社長(起業家)を募集します。対象者に学内店舗を無償貸与し、融資や経営指導などサポートしながら企業活動を実践させます。

また、学生相談室や教育指導室を設けて、心のケアや社会・学生生活におけるマナーの向上などさまざまな面から学生をサポートします。

このほか、経済的事情により就学が困難な学生に対し、本学独自の奨学金貸与制度も設けています。

4 4年制の秋田看護福祉大学設置

17年に開学した秋田看護福祉大学では、看護福祉学部看護学科と社会福祉学科の2学科を設置。超高齢化を迎える現代社会の保健・医療・福祉の分野においては、日進月歩する技術の増大かつ多様化する利用者のニーズに対応できる人材、より高度で幅広い専門知識と技術を習得し、更に応用力を備えた質の高い専門サービスを提供できる人材の養成が求められています。こうした社会情勢から、高度に特化しつつある看護・福祉の専門教育を教授するため、4年制大学に移行し、適切で多様な看護や福祉サービスを提供し、常に新しいニーズを先取りして対応できる人材を養成します。

5 附属高校普通科にエリア選択コース制度導入、特別進学コース強化

附属高校では「生き残りをかけた戦略」として次にあげる「四つの大きな改革」を17年度から推進し実績をあげています。
(1) 生徒一人ひとりの興味・関心、適性に対応し、多様なニーズにこたえるため、従来の普通科4コース(就職・進学・体育・文理)と商業科をまったく新しいタイプの「普通科エリア選択コース」6エリア【スポーツアスリート ビジュアルアーツ 福祉ライフ 情報ビジネス 国際コミュニケーション アドバンス】に再編しました。(2) 特別進学コースなどの強化を図るため、国公立大・難関私立大への実戦的な教育システムとして代々木ゼミ講師による土曜講習を1、2、3年生に対して20回実施。17年度の国公立大の現役合格者が34名と創立以来の実績を残しました。(3) プレ公立入試」と銘打った入試改革が実を結び、受験者が前年比200名近く増加しました。(4) 運動部・文化部を各エリアと連携させたことにより、部活動の活性化が図られました。

6 学園ホームページのリニューアル

学園のホームページをリニューアルし、内容の充実とサービスの向上を図ります。学生はホームページにアクセスして掲示(休講や呼び出し等)を確認することが出来るほか、大学で公開している求人情報にもアクセスできるようになります。幼稚園のホームページも新たに開設し、保護者の方に適切な情報をリアルタイムに伝えます。

また、18年度は学生新聞記者を募集して、経法大記者クラブを創設し、大学のホームページ内に電子新聞を発行したり、学園の広報に記事を掲載することを企画しています。



秋田経済法科大学

経済学部

実践経済学科・実践マネジメント学科

法学部

平成18年度から経済学部と法学部の教養教育を横断的に行う新組織として教養部を創設いたしました。広い視野と柔軟な考え方をもち、総合的な判断ができる人材の育成を目指します。

教養を培い、経済学と法律学の基礎知識の上に実務を習得し、実社会での即戦力を養います。

経済学部

実践経済学科ではキャリア教育を重視し、学生の就職力や仕事を鍛え、公務員や民間企業で活躍する職業人を育成します。

実践マネジメント学科では税理士や公認会計士などの資格取得に力を入れて、ビジネスエリートの育成を目指します。

「公認会計士」の第一次試験が免除され「税理士受験資格」が得られます。規定の単位修得により「高等学校教諭一種（商業・地理歴史・公民）」「中学校教諭一種（社会）」の資格が取得可能。また「システムアドミニストレータ」「情報処理技術者」「旅行業務取扱管理者」「公務員」などの対策講座を設け、資格取得を目指します。

法学部

法学部では基礎教育を徹底し、身近な法律問題を学びます。法科大学院、裁判所事務官受験を目指す人、公務員を目指す人や企業への就職を目指す人、それぞれの目標達成に向けた実践教育とサポート体制を充実させています。

「司法試験」「公務員」「行政書士」「宅地建物取引主任者」「旅行業務取扱管理者」「法学・法務検定試験」などの対策講座を設け、資格取得を目指します。規定の単位修得により「高等学校教諭一種（地理歴史・公民）」「中学校教諭一種（社会）」の資格が取得可能です。



秋田看護福祉大学

看護福祉学部 看護学科

社会福祉学科

4年制大学に移行した秋田看護福祉大学では、幅広い教養教育との密接な関連のもとに保健・医療・福祉領域における奥深い専門教育を教授し、豊かな人間性と知性、高度な専門知識と技術を身につけて社会に貢献できる人材を養成することを教育理念・目的としています。

看護学科

卒業時に「看護師国家試験受験資格」「保健師国家試験受験資格」「助産師国家試験受験資格」が得られます。なお、保健師資格を取得した場合、申請により養護教諭2種免許状が与えられます。

社会福祉学科

卒業時に「社会福祉士国家試験受験資格」「介護福祉士資格」「社会福祉主事任用資格」が得られます。



秋田栄養短期大学

栄養学科

秋田経済法科大学短期大学部を引き継いだ秋田栄養短大は、栄養士の育成に特化し、少人数を生かして教育と就職指導を充実。健康生活の基礎となる食生活を科学的にとらえ、「栄養指導の理論と実践」を学びながら行動力と責任感をもったプロの栄養士を養成することを目的としています。

栄養学科

規定の単位修得により「栄養士資格」、「社会福祉主事任用資格」が取得可能。
また、栄養士として働く卒業生の多くは活躍する場を広げるとともにワンランク上の資格として、管理栄養士資格()の取得を目指しています。卒業生を側面から支援する卒後教育事業として「管理栄養士国家試験受験実力養成講座」を実施しています。

管理栄養士(国家試験資格)の受験資格を得るには、短大卒業後3年間の実務経験が必要



秋田経済法科大学附属高等学校

普通科...【エリア選択コース】

スポーツアスリート ビジュアルアーツ

福祉ライフ 情報ビジネス

国際コミュニケーション アドバンス

.....【特別進学コース】

自動車工学科

附属高校では平成17年度から普通科にエリア選択コース制度を設けました。これにより教育の幅を広げて生徒1人ひとりの個性に磨きをかけ、希望進路へと導きます。

普通科エリア選択コース

スポーツアスリート

選択科目と部活動を連携しアスリートを育てます。

ビジュアルアーツ

やってみたいこと・特技・個性・感性を伸ばします。

福祉ライフ

福祉制度や実技を学び、社会のニーズに応えます。

情報ビジネス

コンピュータの利用技術とビジネスをドッキングさせます。

国際コミュニケーション

外国人講師の授業・短期留学で単位を取得できます。

アドバンス

学習を通じて自分の将来と人生を見据えることができます。

普通科特別進学コース

入試に即応したカリキュラムと実力を養成する授業や進学対策講習、個人指導で国公立大学、難関私立大学を目指します。

自動車工学科

自動車整備士、危険物取扱者、ガス溶接技能などの資格取得の指導に力をいれています。

学校紹介 Introduction of schools



附属幼稚園・保育園（秋田市茨島）



附属さくら幼稚園（秋田市下北手）

秋田経済法科大学附属幼稚園・保育園

秋田経済法科大学附属さくら幼稚園

よりよい環境の中で心身の調和的発達と人間形成の基礎を培い、健康でたくましい感性豊かな幼児の育成をねらいとしています。

幼稚園・保育園では、端午の節句、七夕祭り、豆まき、ひな祭りといった日本古来の伝統行事や、田植えや稲刈り、芋ほりや餅つきなど植物の成長を通じ、食物として利用するための季節に応じた作業体験ができる行事も取り入れています。また、年齢ごとに「体操教室」「水泳教室」「英語教室」「茶道教室」といった特色ある教育を準備しています。

両園とも、大学附属としての学園施設の利用や、経験豊富な教職員の人的活用のほか、大学生や附属高校生との交流も大きな特色となっています。

平成17年度は附属幼稚園が秋田県から「幼保一体化研究モデル園」の指定を受けて、研究と促進に取り組みました。

総合研究センター

これまでの大学の組織である3研究所（経済研究所、法律政治研究所、雪国民俗研究所）と1研究会（佐藤信淵研究会）の活動をより充実・発展させて総合研究センターを創設し、下記の研究所等を置いています。国内外の諸問題を調査研究すると共に、産学の事業の連携を図り、社会の発展に貢献したいと考えます。特に共同研究に伴う成果を社会還元することを目的とし、調査研究の分野から共同事業の展開を視野に入れた活動を行っています。

経済研究所.....国内外の経済問題研究、地域経済の調査・研究を推進し、学術文化の向上と地域社会の発展に寄与します。

法学研究所.....法学及び政治学の共同研究を推進し、これを社会に還元し、大学の地域貢献に寄与します。

ビジネスセンター...ビジネスに関する調査、研究及び相談等を行うことにより、学術文化と地域社会の発展に寄与します。

教養・文化研究所...学生の基礎能力の向上と人間性の陶冶を図り、合わせて地域文化の発展に寄与します。

雪国民俗館.....雪国の暮らしと文化を総合的に研究、資料公開と情報発信の基地とします。

地域との交流 Local exchange

総合研究センターでは、教育研究資源を広く市民に開放して、専門知識や広い視野を身につける教育サービスを提供することを目的に、市民向け公開講座シティカレッジを開講しています。

同講座では多彩な客員教授による講演会を行い、教養文化を発信します。また資格取得や市民生活に役立つ実践的な講座も提供しています。

客員教授 一覧



岡田 裕介氏
東映株式会社



野村 紘一氏
アルテカグループ代表



福岡 政行氏
白鷗大学教授
政治評論家



内館 牧子氏
脚本家

平成18年度は4月に行われる福岡氏の講演会を皮切りに、5月には岡田氏の講演会および超大作映画「バルトの楽園」上映会を行い、6月には内館氏による講演会を開催するなど各界著名人によるものが目白押しです。このほか、学内外の多彩な講師陣による実践的な内容のものを含めて20を超える講座を開講します。

本学講堂及び教場やカレッジプラザ(明徳館高校ビル2階・秋田市中通)、秋田市文化会館が会場となります。

その他の活動として、

産官学各界から参加者を募り、地域における諸問題等についての公開セミナーを実施

県内各地で本学教員による無料法律相談会(年3～4回)や移動大学(公開講座)を実施

などが挙げられます。

また、「経済論集」、「秋田法学」、「教養・文化論集」、「雪国民俗」なども発行しています。



大学・短大生が組織する『交通安全委員会』のメンバーや附属高校生が積極的に街頭に立ち、地域の住民とともに“交通事故防止”“交通犯罪防止”などを呼びかけています。

また、『厚生委員会』のメンバーは他大学生と共に学内外において、募金運動や献血運動に参加しています。

これらの様々な活動を通して地域・社会貢献に取り組んでいます。



世界との交流

International exchange

近年、社会のグローバル化が著しく、今後求められるのは「国際社会に対する適応能力」を備えた幅広い分野で活躍できる人材と考えます。当法人の設置する各学校では、社会有為の人材育成を目指すことから、多くの学生・生徒が在学中に国際理解を深め、視野を広げることができるよう、様々な国際交流の機会を設けています。

秋田経済法科大学

学術交流協定を韓国・慶熙大学校、台湾・真理大学と結んでいます。今後、アメリカ、ヨーロッパの大学とも行っていく予定です。

〔交換留学制度〕

現在、韓国・慶熙大学校との間で交換留学制度を実施し、毎年、数名の学生が学費や寮費の助成を受けて1年間の留学を体験しています。

〔海外研修制度〕

学生自身が海外での研修内容を企画、本学から費用の一部助成を受けて、語学留学やワークキャンプ（労働奉仕活動）参加などを体験しています。

秋田看護福祉大学

〔親善交歓会〕

大学祭期間中に大館市在住の外国人（一般市民や中・高校ALTなど）の方と在学生在が一緒に模擬店を開催したり、自国の文化・生活を紹介しあう座談会を開いたりするなど交流を深めあっています。

附属高校

〔国際交流活動〕

YFU(日本国際交流財団)から依頼を受け、外国から高校生を短期留学生として受け入れています。学校やホームステイ先での交流は、両校生徒にとって有意義なものになっています。



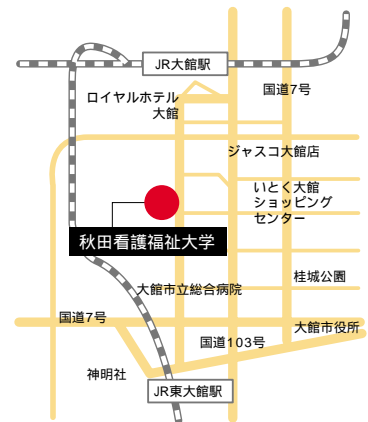
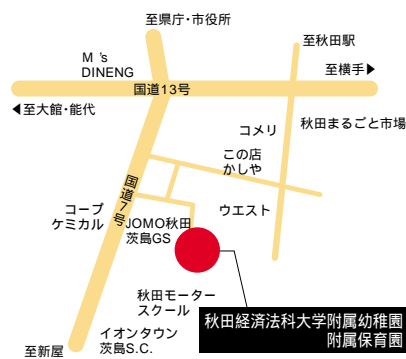
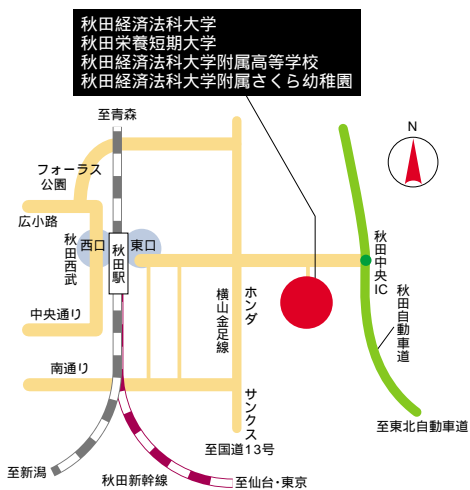


下北手桜キャンパス全景



JR秋田駅東口から下北手桜キャンパスの間で無料スクールバスを運行しております。
 本学園にご来訪の際には、こちらをご利用ください。
 運行ダイヤ、詳細については下記ホームページにてご確認ください。

<http://www.akeihou-u.ac.jp/>



学校法人 秋田経済法科大学

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1

TEL 018-836-1433 FAX 018-836-3321 URL <http://www.akeihou-u.ac.jp/>